

# 2023 年度事業報告

特定非営利活動法人 日本脳性麻痺・発達医学会

## 1 活動の成果

---

### 1.1 脳性麻痺に対する横断的医療の普及

- 第3回～第5回 CP カンファレンス (Web)、2023CP レクチャー (Hybrid)、第3回 CP フォーラム (Hybrid) に多数の参加が得られ、多職種に充実した知識普及が行えた。
- アジアで初めてとなる第1回 AHA18-18 講習会を開催し、小児片麻痺に対する国際的な評価法普及の第一歩を踏み出すことができた。
- 千葉における地域の多職種に対するセミナーを共催した。

### 1.2 日本の現状に即した新たな介入方法の開発

- 小児片麻痺に対する集中介入プログラム多施設共同研究を継続し、Baby-Cl 療法マニュアル、小児片麻痺のための集中リハビリテーションプログラム実施マニュアル第1版をホームページに掲載してエビデンスに基づくりハビリテーションの導入を開始できた。

### 1.3 ダイバーシティの拡充と国際連携の推進

- 医師、男性が多かった理事会に新たにセラピスト・看護師、女性が加わり、より多面的な発案や討議が可能となった。
- International Alliance Of Academies Of Child Disabilities (IAACD)への参加に向けて担当委員会と会議を持ち、定款の英訳等の準備を行った。
- IAACD2025 プロモーションビデオで荒井、河崎、北井理事が日本の現状を伝えた。

## 2 事業の詳細

---

### 2.1 CP カンファレンス (主催)

- 医療・教育・保健・福祉など脳性麻痺に関わる多職種対象に参加費無料で Web 配信
- 症例検討は会員限定。

第3回 (2023年2月16日(木) 19:00～20:10)

- ミニレクチャー「脳性麻痺診療の今後」(荒井理事長)
- 症例検討「跳ねるように手支持歩行器で歩く5歳児、これからどうする」(田辺理事)
- 参加者：ミニレクチャー216名、症例検討51名

第4回 (2023年5月8日(月) 19:00～20:10)

- ミニレクチャー「欧州における小児片麻痺リハビリテーションの最近の流れと評価法 AHA (assisting hand assessment)」(船越紀子：フランス アルマン・トルソー病院)
- 参加者：ミニレクチャー289名、症例検討75名

## 第5回（2023年8月31日（木）19:00～20:10）

- ミニレクチャー「側弯症の治療」（野原亜也斗：JCHO 東京新宿メディカルセンター脊椎神経外科）、症例検討「側弯治療いつ・どこで・方法は？多職種で共有したい日頃の悩み」（司会：門野理事）
- 参加者：ミニレクチャー243名、症例検討55名

## 2.2 第4回千葉県こどものリハビリ多職種勉強会（共催）

- 会期：2023年9月23日（土）9:00～12:30
- 会場：千葉県千葉リハビリテーションセンター
- 対象：小児リハビリテーションに携わる医療・福祉・教育関係者
- 第1部で講演「痙縮治療総論と沖縄での脳性麻痺多職種連携」を金城副理事長が担当
- 第2部で講演「当センターにおける小児痙縮治療の実際」を田辺理事が担当
- 参加者：50人

## 2.3 第1回AHA18-18講習会（主催）

- 日時：2023年10月6日（金）～8日（日）
- 場所：社会医療法人大道会ボバース記念病院
- 参加費：9万円
- 講師：Lena Krumlinde-Sundholm, Rachel Bard-Pondarré
- アシスタント：船越紀子+通訳2人
- 参加者：作業療法士18人、医師2人
- <https://www.jacpdm.org/info/%e7%ac%ac1%e5%9b%9e-aha18-18%e8%ac%9b%e7%bf%92%e4%bc%9a/>

## 2.4 2023CP レクチャー（主催）

- 日時：2023年10月9日（月・祝）9:20～15:00
- 場所：新大阪丸ビル別館からハイブリッド形式で配信
- 参加費：会員4千円、非会員6千円
- 演者：Lena Krumlinde-Sundholm, Rachel Bard-Pondarré
- アシスタント：船越紀子
- 演題名：世界の小児片麻痺治療と評価—AHAを中心に—
- 通訳：高橋理事他1名
- 参加者：105名（会員32名、非会員73名；現地参加33名、Web参加72名）
- <https://www.jacpdm.org/info/cp%e3%83%ac%e3%82%af%e3%83%81%e3%83%a3%e3%83%bc2023-%ef%bc%88%e4%b8%96%e7%95%8c%e3%81%ae%e5%b0%8f%e5%85%90%e7%89%87%e9%ba%bb%e7%97%ba%e6%b2%bb%e7%99%82%e3%81%a8%e8%a9%95%e4%be%a1-aha%e3%82%92/>

## 2.5 第3回CPフォーラム（主催）

- 日時：2023年12月9日（土）～10日（日）
- 場所：東北大学医学部良陵会館からハイブリッド形式で配信
- 現地参加費：会員医師13000円・他8000円、非会員医師17000円・他11000円  
Web参加費：会員医師6000円・他4000円、非会員医師8000円・他6000円

- 海外講師：Heakyung Kim, Amand Sarafian, Hiroko Matsumoto, Rachel DiFazio, Brian Snyder, Daniel Linhares, David Roye Jr., Carley Vuillermin (Online)
- 国内講師：荒井、荒木、香取、樋室、高橋、横山、金城、松本、松山（理事）、川上（顧問）、竹澤祐介、原正彦、大庭真俊、大吉由希美
- 通訳：高橋理事、松本理事、松本顧問、大庭真俊
- 参加者：195名（現地参加82名、Web参加113名）
- <https://www.jacpdm.org/info/%e7%ac%ac3%e5%9b%9ecp%e3%83%95%e3%82%a9%e3%83%bc%e3%83%a9%e3%83%a0/>

## 2.6 片麻痺に対する集中介入プログラムの多施設共同研究を推進

- 北海道立子ども総合医療・療育センター、千葉県立千葉リハビリテーションセンター、ボバース記念病院の多施設共同研究の成果「小児片麻痺のための集中リハビリテーションプログラム実施マニュアル第1版」をホームページに掲載した。

## 2.7 INTERNATIONAL ALLIANCE OF ACADEMIES OF CHILD DISABILITIES (IAACD)参加準備

- IAACD Membership Committee の Dr. Hayley Smithers-Sheedy から参加を促す連絡があり、理事会にて1年間をかけて参加に向けた準備を行うことが決定された。
- IAACD 担当役員と2023年2月21日、4月18日、2024年1月9日にWeb会議を開催。
- ダイバーシティ拡充および全ての差別撤廃の明記（定款）に向けて準備を整えている。

# 3 事業実施体制

---

## 3.1 会議に関する事項

- 通常総会：郵送による紙面にて決議
  - ✓ 2023年度事業報告、決算報告の承認および2024年度事業計画、活動予算の承認
- 臨時総会：郵送による紙面にて決議
  - ✓ 新理事の承認
- 理事会（Web）
  - ✓ 第1回2023年4月4日、第2回6月19日、第3回7月3日、第4回8月21日、第5回11月13日、第6回2024年1月15日

## 3.2 事務局体制

- にこにこハウス医療福祉センター内
- 事務局長：松村 伸寿

## 3.3 ホームページ運営

- 特定非営利活動法人障がい者就労支援の会「あかり家」に委託
- <https://www.jacpdm.org/>

## 3.4 会員

- 正会員 医師69名、他職種49名
- 賛助会員 個人1名、団体6名